TOSHIBA

E&Eの東芝

東芝クッキングヒーター〈ビルトインタイプ〉
設置工事説明書

形名 **BHP-R46B（3口）**
BHP-R36B（2口）

●この商品を安全に正しく設置していただくために、設置工事の前にこの設置工事説明書をよくお読みになり、この設置工事にしたがって確実に設置工事を行なってください。
●設置工事完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。
●この設置工事説明書は工事完了後、お客様にお渡しし、取扱説明書とともにお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

設置工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示とその意味は、次の様になっています。

⚠警告 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

⚠注意 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。

⚠警告

電気配線工事は、必ず電気工事登録業者に依頼する
ご自分で配線工事をされ不備があると、漏電や火災の原因になります。
（専門業者へ）

アース工事は、電気設備技術基準等関連する法令、規制等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行なう
漏電時に感電の恐れがあります
（アース線接続）

定格30A（200V用）のコンセントを専用回路で併せて漏電しゃ断器を設置する
この工事をしないと、配線部が異常発熱し発火することがあります。
（単独使用）

設置工事は「設置工事説明書」に従って確実に工事する
設置に不備があると、漏電・火災・けがなどの原因となります。
（よく読む）

電源コードを傷つけたり、プラグを外して直結しない
漏電やショートにつながることがあり、感電や発火の原因になります。
（禁止）

絶対に分解、修理、改造は行なわない
発火、異常動作してけがをすることがあります。
（分解禁止）

設置は火災予防条例に基づいて、可燃物との離隔距離を必ず守る
距離が近いと、火災の原因になります。
（可燃物との距離をとる）

⚠注意

トッププレートに衝撃を加えない
ひびが入ったり過熱、感電などの原因になりますので、上に乗ったり、物を落としたりしないでください。
（衝撃を加えない）

試運転中、トッププレートやロースターなどの高温部に触れない
やけどの恐れがあります。
（やけど注意）

1 製造開始の届出（乙種電気用品）

■工事現場で工事人が取り付けるときは別ですが、家具製造者等が製造活動として家具等に取り付けるときは電気用品取締法の製造規制の対象となりますので、注意してください。乙種電気用品の届出が必要です。

2 電気工事および接地工事

■電源工事や接地工事は「電気設備技術基準」ならびに「内線規定」に準じてください。
■電源は30A専用回路（ブレーカ付）を設けてください。
万一のときの安全のために、漏電しゃ断器の設置をお願いいたします。
■電源コンセント:埋込コンセント……単相3線式定格250V30A（一極接地用）
●電源コンセント取付位置は、5 の「システムキッチンとの関係寸法図」を参照してください。
●電源コードの直付は絶対にしないでください。
■アース工事を必ず行なってください。（D種接地工事）
●上記コンセントの一極接地用に配線してください。

推奨コンセント形番
東芝ライテック：DC2582E

《ご注意》
アース線はガス管や水道管、電話線用のアース線には絶対に接続しないでください。

電気工事は、必ず電気工事士の免許をお持ちの方に行なっていただきますようお願いします。

3 システムキッチンの温度上昇

■システムキッチンに使用する材料は145℃の熱に耐えるような材料を使用してください。また、接着材等の耐熱性もご注意ください。

1. 異常温度上昇試験において、システムキッチンの各部分の温度は、145℃以下（基準周囲温度30℃）。
この試験条件は左右の各ヒーターにフライパンをからでのせ、強火で連続通電すると共に、ロースターの受け皿に水を入れないで強火で連続通電した状態に相当します。
2. 平常温度上昇試験においてシステムキッチンの各部分の温度は95℃以下（基準周囲温度30℃）。
この試験条件は左右の各ヒーターに水を入れたなべをのせ、強火で連続通電すると共に、ロースターの受け皿に水を入れて強火で連続通電した状態に相当します。

4 設置上の注意

火災予防条例、電気設備技術基準第59条にしたがって設置してください。
●器具の大きさに合った、水平な台の上に設置してください。

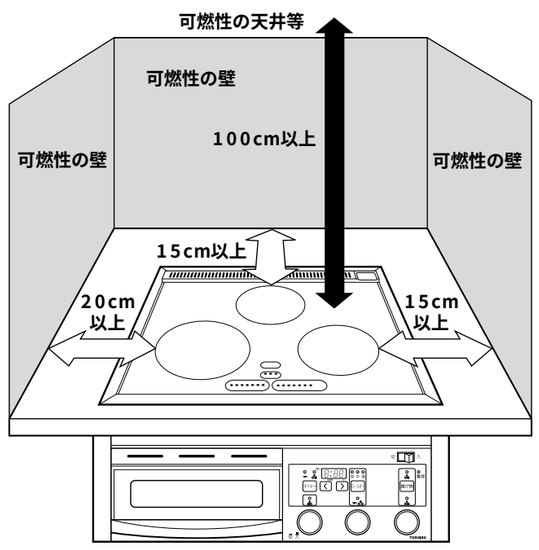
■周囲が可燃性の壁の場合

●右図の通り側面と背面の壁を加熱面の外周から離してください。

※BHP-R36Bは本体後方の寸法規制は適用されません。

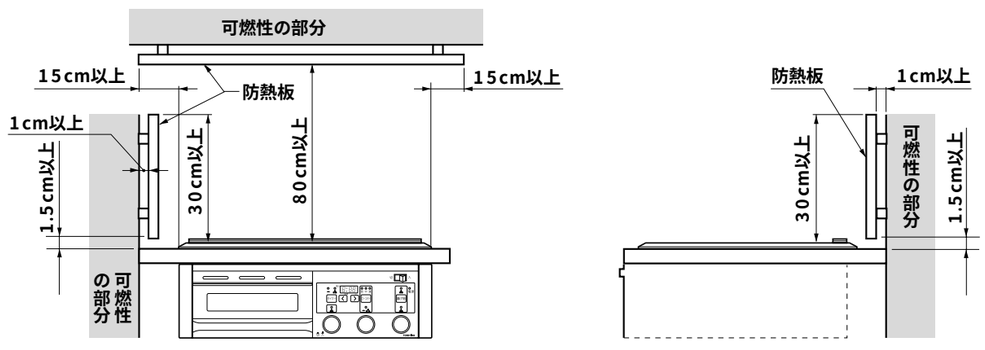
●器具の上方の天井、吊り戸棚などの可燃性の部分との間は100cm以上離してください。

●器具の前面は60cm以上離してください。



■可燃性の壁から上記の距離を離せない場合は、防熱板を取り付ける。
●不燃材料でできている防熱板を下図の要領で取り付けてください。
なお、防熱板と壁の間には1cm以上の空間を設けてください。

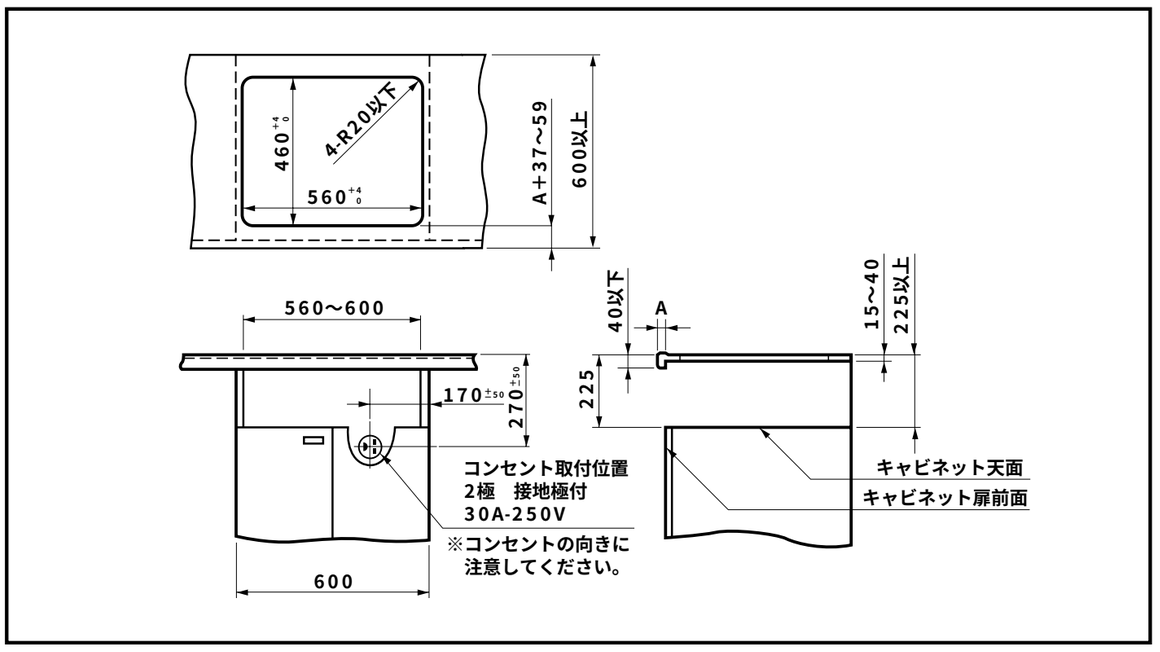
防熱板を使用したときの離隔距離



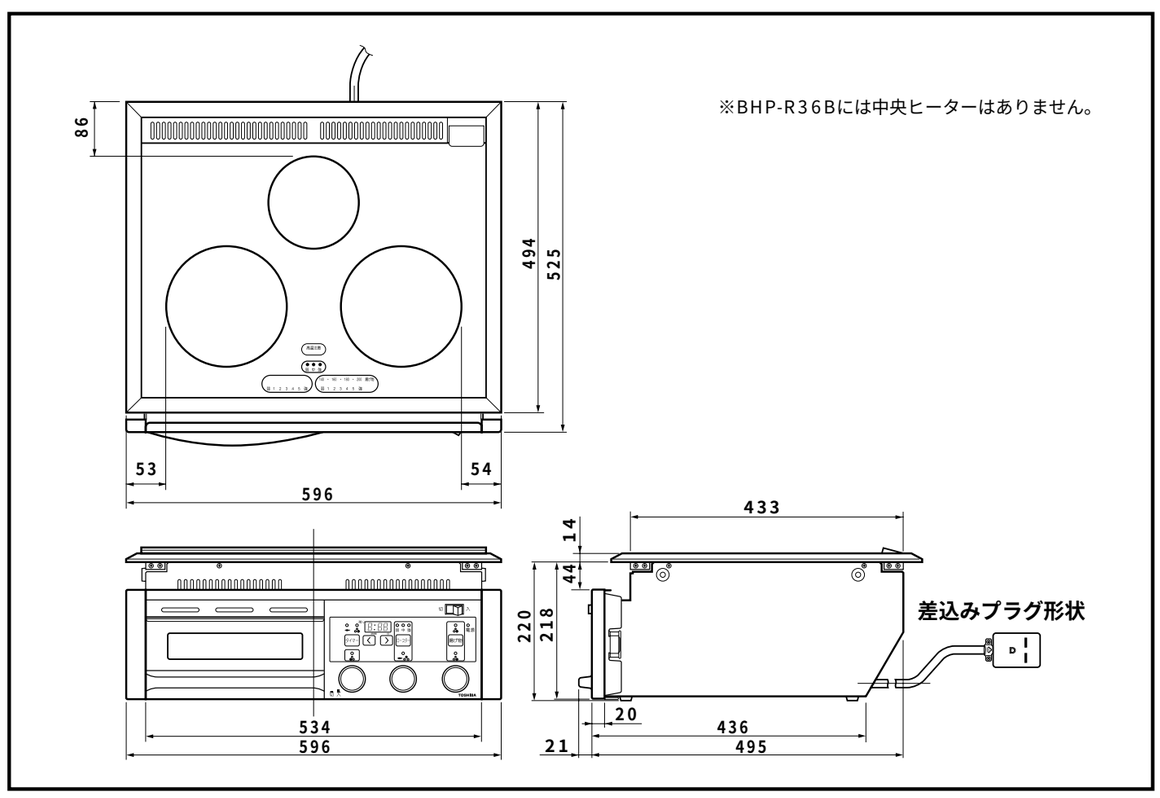
●製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は、建造物の壁中の金属(メタルラスなど)とシステムキッチンの金属部と接触しないようにするか、または製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。

《ご注意》
この器具を設置される台所が、建築基準法に定める(内装制限を受ける調理室)に該当する場合は、台所全体についても内装材の制限を受けます。

5 システムキッチンとの関係寸法図 (単位：mm)



6 外形寸法図 (単位：mm)



7 設　置

設置の準備

■包装を開梱し、付属品を確認する

●取扱説明書、保証書があることを確認してください。

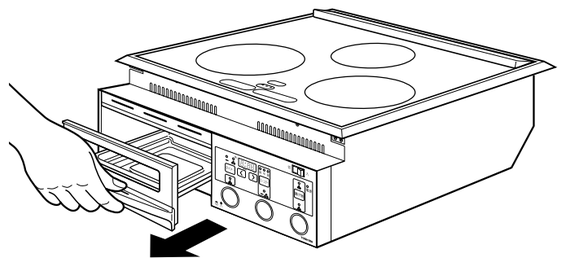
●テープおよびロースター部の包装材を取り除いてください。

吸排気カバー	アッパーモール
1個	1個

ロースター焼き網	サイドモール	前固定金具	温度センサー
1個	2個	2個	1個

■ロースター扉と受皿を取外す

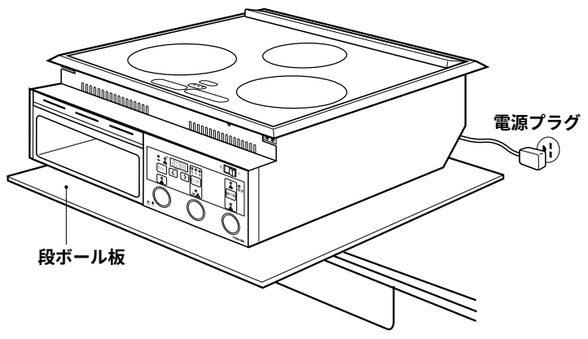
ロースター扉の取っ手を持って引き出します。



本体の設置

1.電源プラグを差し込む

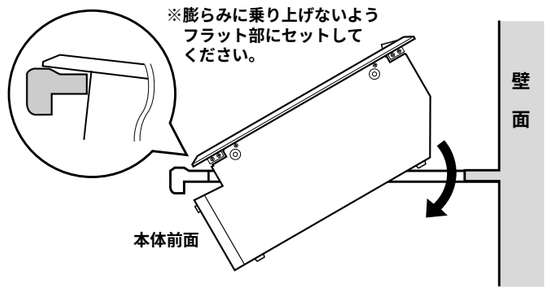
ワークトップを傷つけないよう、ダンボール等を敷いてからおこなってください。



2.ワークトップに本体の前面を挿入してから全体をはめ込む

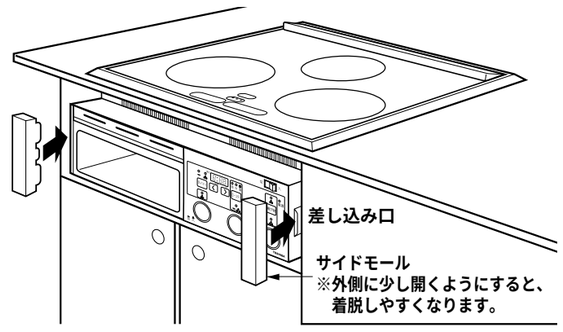
●はめ込み時は、前面のスイッチや前板をワークトップに当てないでください。
（スイッチの破損や前板に傷が付く原因になります。）

●トッププレート下面とワークトップのすき間が、前後左右で均一であることを確認してください。
（本体挿入時に、電源コードが本体底面とキャビネットの間に挟まると、本体が浮いてすき間がバラつきます。）



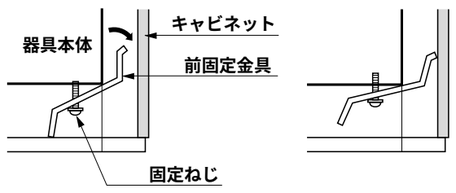
3.サイドモールを取り付け、本体の位置を調整する。

①前面側面の差し込み部にサイドモールを取り付ける
②サイドモールとキャビネットの左右側面とのすき間が均一になるように、本体の位置を調整する。
③キャビネットの扉面に本体の前面が合うように、本体の位置を調整する。

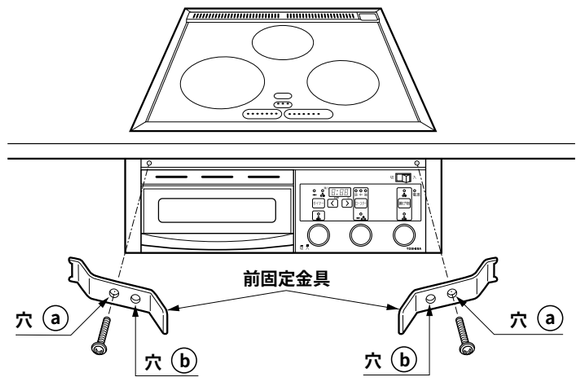


4.前固定金具(2ヶ所)を固定する

ねじを締め付けて、左右のキャビネット側板とつっ張るようにして固定する。
※サイドモールとキャビネットの左右側面とのすき間が均一になるように、左右の金具をバランスよく締めてください。



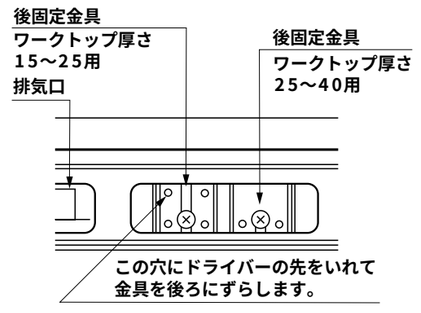
平面図　　固定された図



※キャビネット側板内側の幅が
●560～580mmの場合 穴 ⓐ を使用
●580～600mmの場合 穴 ⓑ を使用

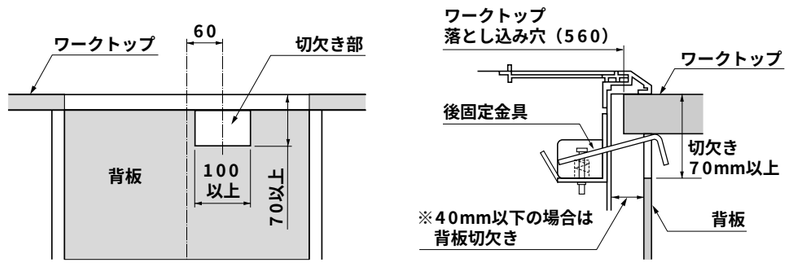
5.後固定金具を固定する

①固定ねじを2回転ほどゆるめドライバーの先を使って固定金具を後方に出す。
※ワークトップの厚みによって左右の金具を選択します。
※固定ねじをゆるめすぎないでください。ねじがはずれます。
②固定ねじを締め付けて、ワークトップをはさみこむ。



キャビネットの後方に背板がある場合

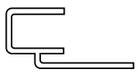
●背板位置がワークトップ落し込み穴から40mm以下の場合は、後固定金具が通るよう背板に切り欠きを設けてください。



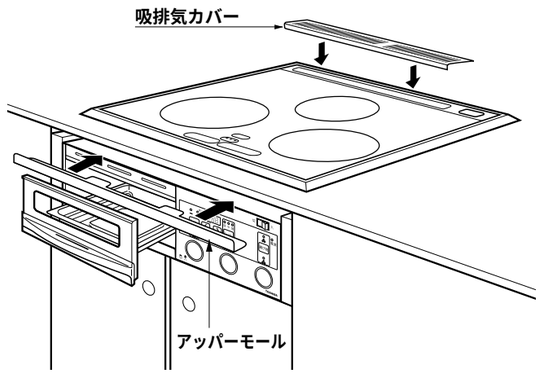
8 設置完了後

付属品およびロースタ扉、受皿、
焼網の取り付け
①吸排気カバー、アッパーモールを取り付ける
アッパーモールは、奥行の長い面を下にしてはめ込みます。
②ロースター扉、受皿、焼網を取り付ける。

断面図
奥行きの長い面を下にしてはめ込みます。



③温度センサー、取扱説明書、設置工事説明書、保証書は必ずお客様にお渡しください。



工事MEMO

9 工事完了後の確認

設置終了後、次の手順で確認し、チェック欄に○印をしてください。

確認項目		チェック
包装材料の取り外し	ロースター扉・吸排気カバーのテープの取り外し。	
	ロースター内のテープ・紙当の取りはずし。	
付属部品などの取り付け	吸排気カバー・サイドモール・アッパーモール・ロースター扉・焼網	
	温度センサー・取扱説明書・設置工事説明書・保証書は必ずお客様にお渡しする。	
外観	前パネル・トッププレートが汚れていないか確認する。	
電気試験	1 電源電圧が単相200Vであることを確認する。	
	2 電源スイッチを入れる。→電源ランプが点灯する。	
	3 各ヒーターの動作をチェックする。 ①左右ヒーター 操作パネルのつまみを押してその後時計方向に回す。 ・約3～5秒でヒーターが赤く光ることを確認する。	
	②中央ヒーター（BHP-R46Bの場合） 操作パネルのつまみを押してその後時計方向に回す。 ・約3～5秒でヒーターが赤く光ることを確認する。	
	③ロースター 操作パネルのロースターキーを押した後、つまみを押してその後時計方向に回す。 ※BHP-R36Bにはロースターキーはありません。 ※中央ヒーターとロースターは同時に使用できません。 ・約1分でロースターの中が熱くなることを確認する。	
確　認	年　月　日 確認者　印	

電気試験終了後は必ずつまみを押し込め電源スイッチを切ってください。

〈注意〉

通電しますとヒーターや本体各部が熱くなりますので完全に冷えるまで手を触れないでください。

・この設置工事説明書は必ずお客様に渡してください。

株式会社 東芝 家電機器社 HA・クリエーション部
〒105-8001　東京都港区芝浦 1-1-1 （東芝ビルディング）

S82 891 42210 00. 4.S①P